

令和元年度 駿河台こども園 教育活動等に対する学校評価

令和2年2月18日

1 こども園の教育目標 … 明るく素直な子

- ・思いやりのある子
- ・進んで運動や遊びに取り組む
- ・自分で考え、のびのび表現できる子

2 本年度の重点目標 … 夢中になって遊ぶ子

- 0歳児 安心して過ごす
- 1歳児 生活リズムを心と体で覚える
- 2歳児 安心できる環境の中で生活(遊び)に興味を示す
- 満3歳児 園生活(遊び)を楽しむ
- 年少児 友達と楽しく遊ぶ
- 年中児 遊びに喜んで取り組む 友達と楽しく活動する
- 年長児 進んで活動に取り組み、最後までやり通す
感じた事・考えた事を表現する

※評価点 4(十分に成果があった)・3(成果があった)・2(少し成果があった)・1(成果がなかった)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員
		H30	R元	園としての反省と改善点 御意見
1 教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	3.3	3.1	・自分自身が明るく素直であるように心掛けている。 ・乳児の保育には理解が薄くなりがちなので、夏休みの保育等にはもっと積極的に入りたい。
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	2.5	2.9	・理解しようとしているが、なかなか勉強・振り返りの時間がとれない。これからも勉強していきたい。
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	3	3.1	・土台になる指導計画はみんなで話し合い見直したい。 ・それぞれの立場から見た保育に関するいろいろな意見を出し合いよりよい園にしていきたい。
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	3.2	3.1	・毎年、発達に対し新しい発見があり、改めて見直しをしながら立てている。 ・1ヶ月間の子ども様子を話し合い振り返りをしながら、実態を基に月案を立てている。
	⑤子どもの生活や動き・思いを大切に環境構成を工夫している	3.2	3.3	・子どもたちの実態を一番考えて環境を整えていきたいと思う。 ・コーナー設定を充実させたいが、時間が確保できず充実させることができなかった。
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との接続を意識している	2.9	2.8	・園内研修でも取り組み、勉強している。 ・乳児保育の中では意識するのは難しいところもあるので、一人ひとりのありのままの成長を大切に受け止め保育している。
2 保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切にし、子どもの体調が悪くないか確かめている	3.6	3.6	・乳児は視診だけでなく、体に触れたりスキンシップの中から体調を読み取るように心掛けている。 ・朝の保護者とのやりとりも大切にしている。
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	3.5	3.4	・乳児は言葉を発することが出来ない分、泣いたり、表情・行動に出るので一人ひとりをしっかりみるようにしている。 ・一人ひとりの個を把握すること大切にしている。
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、子どもの自主性・自発性を大切にしている	2.9	3.2	・自由遊びの時間を大切にし、子どもたちが好きな遊びをしたり、友達と思い思いに遊べるようにしている。 ・遊びがマンネリ化しないよう気を付けたい。
	④行事や活動を通して、子ども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	3.3	3.1	・遊びの中で自然と関わる姿も見られるようになってきたので、わくわく部(幼児)すくすく部(乳児)の交流もどんなことができるのか話し合い提案していきたい。
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	3	2.9	・朝夕の打合せ、職員会議などを通して伝え理解し合っているが、職員の人数が多く勤務時間もバラバラなので難しいところもあり課題である。
3 教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	3.1	3.1	・いろいろな職員の保育を見ながら、話し方など工夫するようにしている。 ・小さな議題でも話し合う場を設けることで、若い先生も自分の意見を伝えられるようにしたい。
	②子どもや、保護者との対応には、公平さやかかさないように平等に接している	3.6	3.5	・平等を心掛け、一人ひとりに合わせた対応をしている。 ・保護者へは信頼を失わないよう、迅速かつ丁寧な対応を心掛けている。
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気を付けている	3.6	3.4	・常に爪には気を付け、また自分自身が感染源になってしまわないよう手洗い・うがいは特に気を付けている。 ・休むことが一日もなく体調管理ができています。

・こども園になって2年目。こども園の求める教育とは何か模索中。焦らず追及していきます。
・教職員の皆さん大変前向きで一生懸命な姿勢がよく現れている。
・先生方の意欲が表れていてとてもよい。
・先生方の前向きな思いは感じられるが「時間がない」のが最大のネックになっている。人員確保等、先生方の「時間がない」を解決するには何かが必要か。評価委員会で話題にならなかったが、質にかかわる問題なので保護者の関心も高い。
・学年ごとの保育目標に加え、年長児については学期ごとにレベルアップを促してきている。小学校を意識した関わりや取り組みはとて有難い。
・すくすく部乳幼児の指導や保育は意思疎通の面で難しいとは思いますが、園児の笑顔が多く評価からも先生方の意識の高さを感じる。
・共通認識のもとに教育・保育をすることがとても大切。様々な家庭環境や親の思いがある中、一貫した園の考えと多様な対応をしていると感じる。
・子どもと一緒に喜んだり悔しがったりと喜怒哀楽を子どもに伝える先生方が多く、子どもたちも自然に自分の気持ちを表現できていると感じる。

・先生方子どもへの接し方、関わり方、子どもの表情に温かみを感じます。保護者の回答からもその実践が証明されています。
・評価委員会の中で”自由遊びの大切さ”について意見がありましたが、保育者も心掛けている様子が伺えてよかった。
・遊びに夢中になる時間的なゆとりを考え更に進めて欲しい。
・①について乳幼児については充実している印象。一方、朝、先生と保護者の接触が少ない園児については不安がある。
・子どもから「今日〇〇ができるようになったよ！先生がいっしょに喜んでほめてくれたよ～」と嬉しそうに報告してくれる。
・ウィルスなども関連付け手洗いの必要性等も園で教えてもらっている様子。アンケート結果からも伺えるので、園全体として素晴らしいと思う。

・保護者アンケートQ4、8の二つの意見感想が、最高評価とする根拠です。
・先生方や保育室の衛生管理が行き届いて安心して預けられる環境が整っている。
・保護者との信頼関係はとても大事である。
・ともに喜び合うことはとても大事である。
・職員同士のコミュニケーションが大事である。
・子どもが遊びに夢中になる援助、遊びが更にワンランクアップする工夫をしていると感じる。仲間同士で一つの事をする楽しさ、どうしたら楽しくなるかを子どもたちで考える力につながっていると思う。
・チャレンジや行事に向かっての活動でも、個々に合った頑張りや上達を認め褒めてくれるので、子どもが達成感や満足感を得られていると思われる。

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員 御意見
		H30	R元	
3 教職員としての能力や良識・適正	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	3.3	3.3	・勤務時間や部が違うと職員同士顔を合わせることも少ないので、なるべく自分から話しかけるよう努め、コミュニケーションをとっている。
	⑤子どものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	3.8	3.6	・小さなことでも子どもと一緒に喜んだり、担任同士や保護者とも共に喜び合うようにしている ・もっともっと些細なことでもたくさん子どもを褒めてあげたい。
	⑥園の子どものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	3.1	2.9	・保育や子ども・親の取り巻く環境も日々変化しているため、新聞などにも目を通すようにしていき、時代に留意していくアンテナを張れるようにしていきたい。
4 保護者への対応	①子どもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使って保護者に適切に伝える	3.5	3.3	・パステルで出欠を入力できるようになり、電話でのコミュニケーションが減った。保護者とのコミュニケーションを意識的に取っていかなくてはと思う。
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	3.2	3.1	・保護者の声には耳を傾け、相手の思いに傾聴することを大切にしている。
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	3.9	3.6	・園で書類を書くようになっているが、できないことも多いので持ち帰ることもある。情報は流出しないよう心掛けている。
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	3.9	3.6	・わからないことはすぐに答えず、報告、連絡、相談をし、自分一人で答えないようにしている。
5 地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えられることができる	2.6	2.9	・自分の中ではわかっているが、質問されたときに、きちんと答えられるか不安。細かく正確に・・・となるとうまく説明できない。
	②子どもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	2.4	2.6	・知識が少ないため、資料を見たり調べたりして勉強していきたい。わからないことは上司に教えてもらいながら、情報収集に努めたい。
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2.4	2.5	・もっと勉強し知識を増やしたい。積極的に情報収集に努めたい。
6 安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	3.2	3.1	・事例は職員会議で報告し、共通理解のもと安全面に十分配慮した。振り返りをしっかり行い事故につながらないように、また繰り返さないよう注意していきたい。
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	3.2	3.3	・突然の訓練は対応できるか不安。引き続き計画的に行っていくたい。
7 研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	3	3	・研修会などは積極的に参加していきたい。研修の中で得たことや資料を読んで学んだことを保育に活かせるよう努力していき、いつまでも向上心を持ち、取り組んでいきたい。
	②日々の実践を見合い検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	3.2	3.1	・園内研修では自分の考えや思いを伝えたり意見を聞くことができ、勉強の場となっている。またそれを、自分の保育にも活かそうと心掛けている。
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	3.1	3	・学年の先生とは特に密に話を聞いてもらい、アドバイス等をいただいている。 ・自分も周りから信頼してもらえよう、日々の生活や保育を一生懸命頑張っていくたい。
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心をもっている	2.9	2.9	・豊かな心で子どもたちと接することができるよう、休みの日はリフレッシュしながら遊んだり、保育のヒントを見つけるよう過ごしている。 ・とても趣味まで時間がまわらなかった。

<こども園の教育・保育をより充実していくための御提言>

- ・子ども同士の交流推進と職員の協働態勢の充実
- ・保護者との連携、子育て支援の推進
- ・遊び込むための選択と集中→行事・活動の精選と遊びの充実